

## 会議結果報告書

### 1 会議の名称

令和5年度第3回光市子ども・子育て審議会

### 2 開催日時

令和6年3月15日（金）14時00分から15時30分

### 3 開催場所

光市総合福祉センター あいぱく光 1階 いきいきホール

### 4 出席人数

委員18人中12人出席、事務局11人出席

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 会議の議事録（要旨）

#### （1）開会

#### （2）会長あいさつ

#### （3）議事

#### **ア 令和6年度子ども・子育て関連事業（案）**

配布資料1で説明

#### **【質疑・意見等（要旨）】**

##### （委員）

ファミリーサポートセンターの加入促進事業でLINE公式アカウントを活用することは、時代に合った取り組みで、費用もそれほど掛からず効果が期待できるのではないかと思います。コーディネートするにあたってのLINEの活用と解釈したうえで、つなぎの部分をLINEだけで対応していくのか、それとも併用していくのか、将来的にはLINEだけでいくのか、おそらく子育て世代の皆様はスマホやSNSの方が活用しやすいと思います。まだ案の段階だと思いますが、参考までに教えていただければと思います。

##### （事務局）

ファミリーサポートセンターとは子育ての援助をしてほしい人と協力したい人が会員となって、こどもの送迎や一時的な預かりをする事業です。現在、橋渡しの連絡調整は基本的にメールで行っております。ただメールの場合、働いておられる方はなかなか見るタイミングがないと思いますが、事務局側からするとメールを見ていただいているかというのがなかなか分かりづらいところがあります。この度の新規事業は、メールよりも日頃から使用し

ているLINEを活用して、LINEの既読機能により、見ていただいたか迅速に確認ができるというメリットがありますので、お願いしたい協力会員さんに連絡調整が迅速にできるということを狙いとしてこの度LINEを導入するものです。

## イ 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの結果（速報値）について

配布資料2で説明

### 【質疑・意見等（要旨）】

（委員）

「公園や広場など、こどもや親子でのびのび遊べる場所の充実」が皆様重要と考えつつも、不満があるとアンケートで答えられていました。実際、公園はたくさんあって施設も充実しているイメージがありますが、私が考える公園とアンケートに答えられた方が考える公園にギャップがあるのではないかと思います。冠梅園に公園があったり、虹ヶ浜に公園があったり、町にも公園が充実していると思います。そこで遊んでいればこういった「やや不満」などの意見はでないと思うのですが、その点を皆様どう思われるか、印象等をお聞きしたいと思いました。

（委員）

高校生を対象として探求プロジェクトという探求学習が始まりました。高校生からいうとアンケートと同じように公園が少ないと言っていました。生徒たちが考えている公園は、周南市にあるような施設型でこどもと家族みんなで遊べるのが公園だと言っていました。冠山総合公園にあるアスレチックへ実際に行ってみると「坂が急なのでベビーカーで入れない」という意見がありました。私たちが遊ぶという意味での公園と、人によってはレジャー施設のようなものが公園という認識の違いかなと思います。私も生徒たちと学習を進めていくうえで、アンケートの結果の資料を拝見してありがたいと思いました。

（委員）

私には小学生のこどもが2人います。「放課後遊びにいつてくる」といいますが、学校の周りにある公園はただの広場だけだったり、椅子があるだけだったりするので遊ぶところがないとよく言っています。学校へ行ってもいつもと変わらない遊具しかないし、広場に行っても楽しさがないと言って、遊びに行かなくなっています。家にいて何をして遊ぶかというと、ゲームやYouTubeを見ているだけなので、そこで親がどういう風に声をかけていけばいいかと悩みます。私も仕事をしているので、夕方仕事から帰ってこどもと遊ぶことができるかというとなかなか難しいので、どうしてもSNSやゲームに頼ってしまいます。近くに公園を作るといのはなかなか難しいと思うので、こども達が楽しめる遊び場があれば、私のように声掛けに悩む親も少なくなるのではないかと思います。週末になるとスポ少などに通っているとその予定がありますが、たまにお休みとなったときに「何しよう」といつも思ってしまう。「ここに行ってみよう」と思うところもすぐに思いつきません。たまに広場で開催されているイベントを祖父母が探して連れて行ってくれますが、そういう情報を私はなかなか知ることができないので、各世帯に情報があれば良いのかなと思います。

ます。

(委員)

私には2歳と4歳のこどもがいます。少し前まではチャイベビに来ていれば、2人とも安全に遊ぶことができていました。上の子が大きくなって4歳の男の子なので走り回り段々物足りなくなってきました。かといって2歳のこどもを冠山総合公園で遊ばせられるかというとなかなか難しいです。自転車に乗りたいたいと思っても近所の公園は草が生えていて乗れません。自転車をどこかの公園等にもっていても、乗ってはいけないところだったという経験もあります。私の実家は山口市なのですが、山口市にある中央公園のような自転車に乗れて、ボールでも遊べる、そして危なくないような場所が近くにあればうれしく思います。こどもの年齢が上がるにつれて必要な物も変わってきているので、そういった場所があれば個人的にうれしいです。

(委員)

2月に「市長と語ろう！ひかり未来ミーティング」に参加をしました。その時に聖光高校の生徒さんが3つのグループに分かれて発表をしていました。その中の一つに冠山総合公園の開発班ということで、「集まれちびっこ、わんぱくの森都市宣言」とおもしろい発表をされていました。光市のイメージとして海や自然、冠山総合公園という声があがっていて、そこで市民の方にお話を聞かれたり、冠山総合公園に実際に行ったりすると使い勝手が悪いというのを印象としてあげられていました。小さいこどもが遊べるかというとなかなか坂が急で難しいので何か工夫として、動物の森や昆虫の森などを作ればいいのかという意見がありました。若い人たちのこういうことがあればよかったという意見を取り入れるといいのかなと思います。昭和の人たちはあの坂をのぼってこども達は元気になって強く生きていくのだと言いますが、今の時代に合わせて小さいこどもも有意義に過ごせる場所があれば、また魅力的な街になるのではないかと思います。団地の公園ではボールで遊ぶと車にあたり、家にあたりするので禁止となっていて、こども達は我慢していると思うので、のびのび遊べる場所があるとさらに良い街になるのではないかと思います。

(事務局)

先ほどご説明させていただきましたが、小学生の保護者を対象としたアンケートの間10「子育てに関する悩みはありますか」のところ、5年前は3番目に多かった「遊ばせ方やしつけについて(ゲーム・SNS等)」が5年間で13.4ポイント上がっています。この数値と先ほど委員さんからご意見をいただいたところは何か関連するところがあるのかと感じました。今後の子育て施策を考えていく中での参考とさせていただきたいと思いません。

(委員)

26ページの「遊ばせ方やしつけについて」で今の時代ゲームやSNSが主流になってきて、一つの意見としては公園とSNSをくっつけてイベント等を行えばもっと集客ができると思います。小学生もスマートフォンを持っている子が多いと思います。そこで一時期社会現象にもなったポケモンGOが流行っていた時期はみんな外に出ていたもので、光市でも

そのようなアプリを導入すれば面白いのではないかと思いました。

## ウ 「認定こども園」への移行の考え方について

配布資料3で説明

### 【質疑・意見等（要旨）】

（委員）

利用する保護者の立場から見て、認定こども園にはどのようなメリットや機能があるのか、分かりやすくご説明していただけますか。

（事務局）

認定こども園につきましては、簡単に言いますと保育園と幼稚園が合わさった施設という形になります。例えば保育園の場合は、就労等の理由がなくなると退園することになります。認定こども園の場合は3歳以上児でしたら、幼稚園の認定を受けて引き続き通い続けることができるというメリットがあります。また保護者の目線からしましても園を選定する際に就労等の保育の理由がなければ、幼稚園という選択肢しかなかったが、認定こども園という選択肢が増えますので保護者の選択肢が広がると思います。

（委員）

現場として認定こども園についてどのように考えているか一言お伝えしたいと思います。皆様が幼稚園と保育園の違いやそれぞれの印象をどのようにまとめられているか分かりかねるところがありますが、幼稚園と保育園の基本の指針は一緒でございます。保育園を利用する、幼稚園を利用するというのは保護者の利用しやすさや、自宅から近い地域にあり通いやすいというのも選択肢の一つであり、園がどのような特徴をもって、保育方針や教育方針をもっているのかが選択する上での理由の一つになっていると思います。いろんな保育園や幼稚園がある中で、保育園であるとそれプラス保護者が就労等をしていて保育を必要とする理由がないと保育園には入れないというのが大きな違いになると思います。認定こども園というのはそういった条件がなくなるという点では選択肢が広がると思います。先ほどのアンケートでもありましたが、「市内の幼稚園、保育園、認定こども園のサービスの充実」というのは満足度としても高かったと思いますし、重要度としても皆様の関心が高いという数値がでていたので、私たちが身を引き締める思いで今後も進めていかなければと思っている次第でございます。認定こども園をどのような形で作っていくのか、今は市内に1園しかないの、保護者目線で考えたときに選択肢を広げる、サービスを充実させるという意味でどうするか皆様と考えていければと思います。国の大きな動きとしてはこどもが通う施設は非常に注目されていると、私たちは現場にいるので大きく感じています。最近のニュースの中で「こども誰でも通園制度」という言葉を聞かれた方もいると思います。保育園や幼稚園、認定こども園において一定の時間に限られますが、入所をしなくても園を利用できるという制度を国は令和8年から本格的に進めようとしています。保護者の方が色々なサービスを求めていると思いますし、虐待等の防止の観点からも保育園に入所する前に預けるとか。これが全国的な動きとして幼稚園や保育園、認定こども園に新しい制度として創

設されると計画されています。先ほど子ども達の遊びの話も出てきましたが、家庭環境や社会環境が変わっていく中で子ども達をどう育てていくのかが私たちの使命だと思っています。色々な家庭の環境や状況がある中で、充実したサービスはある意味多様でなければいけないと思います。制度をどう活用していくかを行政と一緒に考えながら、なるべく利用者が光市にこういったサービスがあって良かったと思っていただけたら良いと思います。現場も色々な大変さがありますが、子ども達の教育や保育のことを考えたときにそれぞれの家庭が色々な選択肢を持てることは必要なことだと思います。改めて認定子ども園も選択肢の一つとして考えていくことは大切なことだと思います。

(委員)

保育園では入所する理由として就労などの理由が必要となります。両親の就労証明が取れなかったり、求職中であれば保育園に入所できる期間が決まっていたりして、どうしてもその期間で就職先が決まらなくて退園した方もいらっしゃいます。他市でも認定子ども園についてはよく聞くようになって、3歳以上の無償化のあたりからも保育園と幼稚園は同じところもあるので、どの子も同じように保育や教育のサービスが受けられるというのは大切なことだと思います。

(委員)

幼保・小・中・高と18歳まで一括りで考えることが多いです。小学校には、幼稚園と保育園それぞれの子が入学しますが、小学校としてはみんな同じくくりで考えています。保護者の皆様の環境や条件によって選択できるのはいいと思います。一つの小学校でも色々な幼稚園や保育園から集まっているので、通いやすい園を選ぶという面でメリットがあるのではないかと思います。

(委員)

私の子ども達はみんな幼稚園にお世話になっていて11年目になります。最初幼稚園で入園をして、そこから認定子ども園にかわって今に至るという状況です。幼稚園に預けていた上の子2人の時は1か月に1回参観があり、親が関わる行事がとても多かったです。そこから認定子ども園になって3歳未満児のクラスが出来たので、仕事をされる保護者の方が増えて、私もそのタイミングで3番目を利用させてもらって仕事に復帰をしました。仕事が始まると月に1回の参観だったり、平日行事に参加したりすることが難しくなりました。ただ幼稚園に預けたいと思っていた保護者の方は「昔あれがあったのになくなった」という不満が出てきていました。保護者の中で認定子ども園に対する理解ができていないまま移行となったので、今認定子ども園のメリットなどをお伺いして今更ながら理解しました。保護者の方が理解をして幼稚園や保育園、認定子ども園を選択できるようになっているといいと思います。行事が多いと思う保護者の方もいれば、行事が少ないと思う保護者の方もいるのでそこが認定子ども園の大変なところだと感じました。そのあたりがうまくいけばいいと思います。

(委員)

今4歳の子どもは幼稚園に通っていますが、今年の4月から私は仕事に復帰します。上の

子は落ち着いていて喜んで幼稚園に通っているのですがこのまま幼稚園に預けて、私はフルタイムの仕事に復帰する予定です。私の主人が融通の利く職場なので継続するという選択肢がありました。普通だったら転園しなければならない状況だと思います。認定こども園がどちらの機能もあり迷いましたが、満3歳児にならないと幼稚園には入園できないと聞きました。今通っている幼稚園だと1歳半から預かりをしてもらえて、そのまま満3歳児になると入園ができます。育休中は仕事がない状態なので保育園に預けることが出来なかった。今通っている幼稚園に入園をしました。認定こども園になればこどもの環境を変えずに通園できると思いますが、今預けている幼稚園そのままではなくなってしまい、先生方の負担も増えてしまうと思うので難しいと思います。それまでの施設の良さを残しつつ、先生方の負担も軽減しつつ、みんなが利用しやすくなるような工夫を考えていければと思います。

(委員)

現場の声と当事者の声をお聞きすることで認定こども園の在り方をなんとなくイメージできました。認定こども園の設置数は計画に具体的な数値があげられ、この数値が光市の必要な設置数になると思います。先ほど事務局からご説明がありましたように、ニーズなどに合わせて必要量を把握して今後の計画策定に取り組んでいただくことになるかと思います。これからの作業の中でしっかり審議ができればと思いますので引き続きどうぞよろしくお願いたします。

(委員)

今誰もが嘆いているのは出生率の低下だと思います。新規事業と見直しの事業がありますが、少しずつ見直すことで出生率の低下が食い止められ、少しでも上向きになることに繋がるのではないかと思います。子育て家庭を温かく見守ることを一層応援していきたいと思っております。

#### (4) その他

「こども基本法」についての出前講座の実施報告  
配布資料4で説明

## 7 閉会